

会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回飯塚市図書館運営協議会
開催日時	令和5年3月23日(木) 10時00分～11時28分
開催場所	イイツカコミュニティセンター3階 学習室303
出席委員	後藤委員 嘉村委員 東田委員 石川委員 大津委員 岡松委員 以上6名
欠席委員	木村委員 芹野委員 和多委員 小池委員
事務局職員	【指定管理者(図書館流通センター)】河野館長 瓜生統括チーフ 中堀(新年度館長) 【教育委員会】安藤生涯学習課長 石川生涯学習課長補佐 村岡中央公民館・図書館係長 江頭中央公民館・図書館係 面高中央公民館・図書館係
発言者	発言内容
生涯学習課長	<p>1 開式のことば及び資料の確認 事務局より開会を告げた後、事前資料及び当日配布した資料の確認を行った。</p> <p>2 教育委員会挨拶 教育委員会を代表いたしまして、ごあいさつ申し上げます。 本日は大変お忙しい中、第3回飯塚市図書館運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。 福岡県におきましては 2月13日に「福岡オミクロン警報」も解除され、少しずつではありますがコロナ禍の状況も緩和されつつあり、3月13日からマスク着用の考え方の見直しから、「着用は個人の判断に委ねる」ようになっておりますが、これはあくまでも、「着けなくてよくなった」のではないと誤解のないように配慮する必要があります。 さて、4月1日から5年間は再度、株式会社 図書館流通センター様による指定管理が始まります。新年度からは、穂波館・穎田館を含めた5館全部が指定管理となります。 株式会社 図書館流通センター様におかれましては、これまで、本市の図書館運営にご尽力いただいたことに感謝するとともに、その実績と経験を十分に発揮していただき、本市教育委員会とともに読書活動の推進を図りながら、より良い図書館となるように取り組んでいただきたいと思います。 また、子ども図書館の整備等に関しましては、旧穂波郷土資料館の1・2階全部を使つての改修となることは、既にお伝えしていることだと思いますが、飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会では、子どもたちが必要とする部屋について、内部の配置や子ども図書館の機能等</p>

	<p>について、委員の皆様から意見をいただき意見書をまとめているところでございます。子ども図書館ワークショップにおいても3月11日に開催しており、参加した子どもたちや保護者の方たちの意見をまとめています。</p> <p>本日、本年度最後の図書館運営協議会になりますが、事業報告に加え、指定管理者更新に伴う飯塚市立図書館5館の運営、子ども図書館整備事業についてもご説明させていただきたいと思っておりますので、委員の皆様には、率直なご意見を頂きますようよろしくお願いいたします。</p>
館長	<p>3 議事(報告・協議事項)</p> <p>以降の進行は会長が行う。</p> <p>(1) 令和4年度飯塚市立図書館利用状況・業務報告</p> <p>資料に基づき、指定管理者河野館長より説明</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月までの5館の貸出人数・冊数を中心とした利用状況報告 ・飯塚館はネット予約が前年度に比べ1.5倍程度増えてきており、市民への定着化が進んできたと認識している。 ・各館の事業について、要旨を説明 ・各図書館のおはなし会については、月が進むにつれ参加者も増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の影響が緩やかになったことに起因していると分析している。 ・団体貸出について、学校や病院、保育施設への貸出状況を説明した。 ・ブックスタートについては、1月までで865名の赤ちゃんに渡すことができた。
委員 A	<p>【質問】</p> <p>イベントをたくさんしていただいているようだが、古代史講座等、参加者が多いものと少ないもので差があるようだ。告知する内容に違いがあるのか、継続しているもので市民の認知度に差があるものが原因なのか教えてほしい。</p>
館長	<p>古代史講座については、講師の先生がとても有名な方で先生を目当てに参加されることが大きな要因である。子育て支援講座等に関しては、あえて少人数で実施することもあるが、参加者に差があることは広報に課題があると認識している。</p>

委員 A	<p>子ども図書館ワークショップに参加したが、子どもからワークショップを沢山してほしいとの意見がでていた。できる限り定期的に実施していただくと良いのではないかと感じた。周知も学校に配布したことが良かったと思うので、引き続き広報も工夫してほしい。</p>
館長	<p>(2) 指定管理者更新に伴う飯塚市立図書館 5 館の運営について 資料を基に説明。令和 5 年 4 月 1 日から、飯塚市立図書館 5 館が指定管理となることを説明。新規事業を中心に運営について説明を行った。</p>
委員 A	<p>誰もが使いやすいということで有料宅配サービスや、やさしい利用案内等を計画されているということで、すごくうれしく感じる。新しいサービスをたくさん入れていただくと他自治体にも劣らない良い図書館になるかと思う。子育て支援講座を父親向けに展開するとのことであるが、表現的にシングルの母親がこのチラシを見ただけで心を痛めるケースもあると聞いたことがある。まだまだ配慮は必要だと感じる。</p>
委員 B	<p>有料宅配サービスは登録が必要なのか。</p>
館長	<p>登録は図書館に来ていただく必要がある。FAX やメールでも登録ができないかは検討している。</p>
委員 B	<p>返却されなかった場合の罰則等はどのように考えているのか。</p>
館長	<p>通常の貸出に準じる方法で考えているので、返却されない場合は弁償していただくことになる。</p>
委員 C	<p>宅配サービスだが、福岡市の総合図書館でよく利用させてもらっているが、貸出期間は電話で申込をした日から数えて何日という条件がある。現在、郵便配達に日数がかかっているので返却が大変だった。貸出期間は余裕があったほうが良いのではと思う。</p>
館長	<p>現状は、宅配に必要な期間を含め、1 か月を想定している。</p>
委員 D	<p>子育て支援のことはこれから少子化対策に向けても良いことだと思うが、仕事の関係上、高齢者の認知について興味を持っている。高齢者に読み聞かせをして、少しでも認知が進むのを止めたいと考えている。高齢者にもわかりやすい本や紙芝居の導入も検討していただきたい。</p>

館長	貴重なご意見として受け止めたいと思う。
委員長	学校現場の読書環境についても、少しお話を聞かせていただきたい。
委員 E	小学校については高学年になるほど読書離れが進む傾向にある。週に 1 時間図書時間を設け、司書が読み聞かせ等を実施している。新型コロナウイルス感染症が流行する以前は保護者にも来ていただいていた。各学校で様々な取組をしているところではあるが、活字で読み取る力が社会では大切になると認識しているので、研修会を実施する等取組について研究をしているところである。
中央公民館・図書館係長	(3) 子ども図書館整備事業について 【説明要旨】 資料を基に子ども図書館ワークショップの概要と結果を説明
委員 C	子どもは何歳を想定しているのか。
中央公民館・図書館係長	小学校低学年までを想定している。
生涯学習課長	子どもの年齢については、飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会でもたくさん意見をいただいている。他自治体の事例でいくと、建物の規模に応じた年齢を設定しているところが多い。前回の本協議会においても調べる学習コンクールを実施しているので、多くのジャンルを置くべきとの意見をいただいた。また、小学校 6 年生までを対象にしたほうがよいとの意見も出ている。子ども図書館を整備するという意向が発信された令和 2 年の総合教育会議においては、小さな子どもと保護者が利用できるという図書館、あるいは穂波図書館が合併後廃止するのか、存続するのかといった論議の中で、当時の自治会連合会等からの要望においても同様の利用層が意見として出た。教育委員会としては、このような経緯も踏まえ小学校低学年までの子どもとその保護者を主な対象としての蔵書構成としていきたいと考えている。その他の利用者にも配慮をしながらの整備となるかと考えている。
委員 B	利用している赤ちゃんが泣きだしてしまった場合、どう対応するのか。
生涯学習課長	赤ちゃんをお連れであって、泣き出しても許容いただける図書館としていくつもりである。

館長	<p>最近の図書館運営としては、泣き声に対して寛容になってきている。子ども図書館として、全体的に声を出しても良いとするか、声を出せるところ、出せないところで分けていくかはスペースが許せば検討してよいと考えている。逆に、サイレントルームとして静かに読書などをしたい人専用のスペースを設けている図書館もある。子ども図書館として、許容していくことも必要であるが、何事も限度があるので子どもたちが図書館の使い方を学ぶという考えで運用していくほうがよいのではないかと考えている。</p>
委員 A	<p>館長の言われたことがとても良いと思った。飯塚市立子ども図書館においてもすみ分けの意見が出ていたのでぜひ検討をお願いしたいと思う。対象年齢については、どのような空間となるか決まっていない段階で決定しなくても良いのではないかと思う。子育て支援センターは、小学生になったら入館できなくなるので問題提起をしたことがある。子育て支援センターに入館できない小学生の居場所となる子ども図書館となつてほしいと思う。児童館についても学童だけが利用の対象者となっているので、子どもを連れた保護者が行く先がイオンであったり、公園であったりと限定されてしまう。そういった子どもと保護者が立ち寄れる場所ができることは非常にありがたいことだと思う。館長が言われた図書館の使い方を学ぶ場所と同時に、誰でも寛容される図書館であつてほしいと思います。</p> <p>話は変わるが、ワークショップ後に内部で検討等はされたのだろうか。今後の飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会においてもどのような報告がなされるのかお聞かせください。</p>
中央公民館・図書館係	<p>飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会での意見をまとめたものと、ワークショップの報告書については書面で送付するようにお伝えをしている。</p> <p>最後の飯塚市立子ども図書館整備等検討委員会はいつ開催されたのか</p> <p>2月10日に開催している。次年度については2回程度開催する予定としている。</p> <p>4 その他 事務局から、颯田図書館は電話を颯田交流センターと共有していたが、颯田図書館の専用電話を設置することを説明した。</p> <p>5 閉会 11:28</p>

<p>会議資料</p>	<p>事前配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度 飯塚市立図書館利用状況・業務報告 (2) 指定管理者更新に伴う飯塚市立図書館 5 館の運営について（報告事項） (3) 子ども図書館整備事業について <p>当日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども図書館ワークショップ報告書
<p>公開・非公開の別</p>	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	